

森喜朗会長 辞意固める



東京五輪・パラリンピック
組織委員会の森喜朗会長

東京五輪・パラリンピック組織委員会の森喜朗会長(83)が辞意を固めた。11日、関係者が明らかにした。スポーツ団体の理事起用を巡る女性蔑視発言が国内外で反発や批判を受け、

発言を撤回して謝罪したが、責任を取る形となった。12日の組織委の評議員会、理事会の合同懇談会で表明する見通し。後任は日本サッカー協会元会長の川淵三郎氏(84)で調整して

女性蔑視引責 後任、川淵氏で調整

いる。

新型コロナウイルスの影響で史上初の延期となった五輪は、開幕まで残り半年を切った時期にトップ交代となる異常事態となった。

森氏は3日の日本オリンピック委員会(JOC)臨時評議員会で「女性がたくさん入っている理事会は時間がかかる」などと述べた。4日に「五輪・パラの精神に反する不適切な表現だった。深く反

省している」と謝罪したが、選手やスポンサーからも厳しい声が続く。ボランティアの辞退者が続出。当初不問に付した国際オリンピック委員会(IOC)も9日に「完全に不適切だ」と指摘する声明を発表し、会員制交流サイト(SNS)上などで辞任を求める声が高まっている。大会の開催可否を巡る懐疑論の中で、開催準備はさらに混迷が深まった。



発行所 秋田魁新報社
〒010-8601
秋田市山王臨海町1番1号
©秋田魁新報社 2021年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

電子版

www.sakigake.jp

モバイル

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報朝刊」秋田魁新報電子版「さきがけMOBILE」をご覧ください。